

## 生体電磁環境に関する検討会（第1回） 議事要旨

1 日時：平成20年6月24日(火) 10:00～12:00

2 場所：中央合同庁舎7号館 12階 第2特別会議室

3 出席者

(1) 構成員（五十音順、敬称略）

今井田 克己、宇川 義一（代理：榎本 博之）、牛山 明、  
大久保 千代次（座長）、奥野 勉、鎌田 環、熊田 亜紀子、佐々木 洋、  
神保 泰彦、多氣 昌生（座長代理）、恒松 由記子、名川 弘一、西澤 真理子、  
野島 俊雄（代理：日景 隆）、飛田 恵理子、藤原 修、宮越 順二、  
山口 直人、山根 香織、渡邊 聡一

(2) 総務省

田中電波部長、杉浦電波環境課長、島田課長補佐

4. 配付資料

- |           |                               |
|-----------|-------------------------------|
| 資料-生電 1-1 | 生体電磁環境に関する検討会の公表について          |
| 資料-生電 1-2 | 生体電磁環境に関する検討会開催要綱（案）          |
| 資料-生電 1-3 | 生体電磁環境研究推進委員会報告書概要            |
| 資料-生電 1-4 | 無線周波電磁界に関するWHOの研究課題           |
| 資料-生電 1-5 | 防護指針の動向                       |
| 資料-生電 1-6 | 疫学調査の動向について                   |
| 資料-生電 1-7 | 研究課題について（生体電磁環境研究推進委員会報告書 抜粋） |
| 資料-生電 1-8 | 今後のスケジュール（案）                  |

5. 議事要旨

(1) 開会

事務局より開会の挨拶があった。

(2) 総務省挨拶

総合通信基盤局田中電波部長から挨拶があった。

(3) 検討会の進め方について

ア. 会議等の公開について

事務局提案の「生体電磁環境に関する検討会の公表について」（資料-生電 1-1）  
について、構成員からの了承を得た。

イ. 生体電磁環境に関する検討会の開催要項について

事務局提案の「生体電磁環境に関する検討会開催要綱（案）」（資料-生電 1-2）について、構成員からの了承を得た。

ウ. 座長の選出

構成員の互選により、座長に大久保構成員が選出された。

大久保座長より、座長代理として多氣構成員が指名された。

(4) 生体電磁環境研究推進委員会報告書について

事務局より、「生体電磁環境研究推進委員会報告書概要」（資料-生電 1-3）に基づき、平成19年4月に公表した生体電磁環境研究推進委員会報告書の概要について説明があった。

(5) 研究動向について（平成19年度までの研究とこれからの方向性）

「無線周波電磁界に関するWHOの研究課題」（資料-生電 1-4）に基づき大久保座長より、「防護指針の動向」（資料-生電 1-5）に基づき多氣構成員より、「疫学調査の動向について」（資料-生電 1-6）に基づき山口構成員より、それぞれについて説明があった。

山口構成員の説明に関する質疑応答の内容は以下のとおり。

- ・ ハンズフリー装置の使用の有無やアンテナの伸縮に関して、統計的にどのようなデータが出ているか。
  - 通話中のハンズフリー使用率を聞き取り、携帯電話使用時間から引き算している。また、アンテナの伸縮によりSAR値が変化するため、（携帯電話使用及びばく露に関する質問項目に）入れているが、実際に何%くらいとしてデータが出ているかは、資料を確認しないと答え出来ない。
- ・ 小児・若年者のコホート調査の調査対象、調査年はどのくらいか。
  - 全国23,000校に調査説明用のパンフの配布依頼をした。調査年は5年間を予定している。
- ・ 高圧線を対象としていないのはなぜか。
  - 本検討会の対象は高周波（放送、通信等で使用している電波）と認識しているため触れていない。また、このコホート調査は、携帯電話使用を対象としている。

(6) 今後の研究課題について

事務局より、「研究課題について（生体電磁環境研究推進委員会報告書 抜粋）」（資料-生電 1-7）に基づき説明があり、平成21年度以降の今後取り組むべき研究課題について、次回検討会までに各構成員において検討いただき、次回検討会において議論していただきたい旨の説明があった。

(7) その他

事務局より、「今後のスケジュール（案）」（資料-生電 1-8）に基づいて検討会の今後のスケジュール案について提案があり、了承された。

その他、以下の質疑応答があった。

- ・ 平成21年度の研究テーマを提案するにあたり、平成20年度から実施予定の研究概要等について情報をいただきたい。（これから行われる研究が）今後の電波の健康リスク評価作業において、地デジ化後の未来を先取りするような内容であり、行政のみならず、関連する事業者にも見ていただけるものになれば良いと期待している。  
→ 了。平成20年度の研究については確定次第、事務局から連絡する。

(8) 閉会

大久保座長より閉会の挨拶があった。

6. 今後の予定

- ・ 今後取り組むべき研究課題を抽出する。  
抽出方法等については、後日事務局から連絡する。
- ・ 次回会合は平成20年12月を予定しており、後日事務局から連絡する。

以上